

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

別添資料10

公表:平成 31年 3月 4日

事業所名 放課後等デイサービス・児童発達支援FreeDom

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		部屋を仕切ってわかる	
	2 職員の配置数は適切である	6	1		送迎の重なる時間に人を増やす。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	1		
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	1	6		PDCAサイクルは心がけてはいるがなかなか成果をだす結果にはいたっていない。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	5		まだ評価段階のため今後の評価で改善につなげる。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	5		今回から公開する。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			7	今後第三者の評価も視野に入れていく。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		外部・内部の研修を積極的に参加している。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			事業所での評価と保護者のニーズをもっと活かすよう改善の余地がある。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	1	6	事業所内での評価は行っている。	事業所内での評価は行ってはいるがまだまだ改善の余地がある。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	7		スタッフ一同で話し合い決めるようにしている。	利用者さんの意見も取り入れられるように改善していく。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	1	定期的なプログラムを残しつつ違うプログラムもいれていく。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	1	事前に話し合い設定を決めている。	設定を決めてはいるが実行に至らないこともあるので実行できるよう改善の余地がある。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		毎朝全スタッフでミーティングを行う。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		引き継ぎなどその日のうちにできるよう、いてないスタッフにも連絡を流す。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1	ケース記録に記載し振り返って検討・改善できるようにしている。	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7				
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6	1			

関係機関 や保護者との 連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		担当しているスタッフが参加できるように調整を行っている。	誰が参加しても同じように答えられるよう担当から情報を共有し関係を築けるよう改善の余地あり。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7		お迎え時に情報共有をはかり対応等を相談させて頂くなどしている。	今後もスムーズな情報共有を目指せるよう対応を考えていく。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	6			現在該当する利用者さんがいない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	6		積極的に情報共有を心がけている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		7			現在該当する利用者さんがいない
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7			他の事業所などの会に参加するよう心掛けています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		7			現在行っていないので今後機会を作っていくようにする。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	6			現在行っていないので今後機会を作っていくようにする。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			送迎の際や電話等で積極的に共通理解をはかっている。	
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	2		事業所内での支援方法などをお伝えしご家庭でも参考にしていたできるようにしている。	まだまだご希望に添えないことがあるので事業所内での支援を進めご家庭の支援に活用いただけるように努める。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		7			現在は行っていないので今後利用者の希望などを聞き保護者会の開催も視野に入れていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7				体制は作ってはいるがまだまだ迅速な対応には繋がっていないので今後体制の見直しをし再度利用者さんに周知するようにしたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	6		ブログに活動内容などはあげ、ホームページにも予定など記載している。	ブログの更新などが遅くなってしまうことや利用者さんへの情報共有に時間がかかるので迅速に行える体制を再度検討する。
	35	個人情報に十分注意している	7				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		7			現在は行っていないので今後機会を作っていくようにする。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	避難訓練をプログラムに入れており定期的にマニュアルを見直す。	今後実地回数を増やしていきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	スタッフだけの避難訓練を行っている。	今後実地回数を増やしていきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	研修を設け周知している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7		現在は行っていないので今後書面での通達をし了承を得るような形をとっていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	1 契約時に保護者に確認しあれば保護者と連携し医師とも連携をはか	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	あればヒヤリハットに記載し朝のミーティングなどで再度共有する。	